

戦略物流・国際物流・万博

## 万博に向け夢洲の渋滞対策検討

18年度物流活性化モデル事業に  
ユニエツクスの内航フィード

【関西】関西の産官学

で構成する「国際物流戦

略チーム」(本部長＝松本

正義・関西経済連合会会

長の第15回本部会合が

7日、大阪市内であった

。写真。今後、10年後を

見据えた中長期の取り組

みも策定することとし、

特に関西の強みでもある

「医療」や「食」の輸出

促進に向け、常時温度監

視を可能とするコールド

チェーン(低温物流)の構

築を目指すことを確認。

2025年大阪・関西万

博開催で危惧される大阪

港・夢洲地区の渋滞対策

については、来年度から

検討することを決めた。

さらに、「18年度関西総合

物流活性化モデル」には

ユニエツクスの内航フィ

ード事業を認定した。

会議の冒頭、松本本部長

があいさつ。阪神港(神

戸・大阪)と関西国際空

港が昨年、台風21号で甚

大な被害を受けたにもか

かわらず前年を上回る取

り扱い実績を示したこと



国際物流戦略チーム 第15回本部会合

けん引する高度な情報技術、関空でのRORO船岸壁整備など輸送手段の多様化に向けた「BCP(事業継続計画)の再構築」に加え、新たに関西の強みを生かした「崩れないコールドチェーンの構築」を今後の活動方針に盛り込んだ。

活性化モデルに認定されたユニエツクスの事業

は、神戸港と水島(岡山)、伊予三島(愛媛)との間の

内航フィードサービス

を陸上輸送の補完を目的

に拡充するもの。従来の

バジ輸送から499総

小型内航船に輸送能力を

増強し、2月から週に2、

3便のシャトルサービス

を開始。今後は高松、福

山(広島)などへの寄港

や、姫路(兵庫)に開設し

た同社のインランドコン

テナデポとの連携も視野

に入れている。戦略チー

ムでは、同社の事業推進

を広報面で後押しする。

万博に向けた夢洲地区

の物流については、ロジ

スティクス経営士の上村

多恵子氏が「工事期間中

を含め物流に影響が出る恐れがあり、渋滞対策をチームで考える必要がある」と検討ワーキングの設置を提案。これに対し、事務局の近畿地方整備局は、構成メンバーや検討内容など幹事会を中心に議論していきたいと回答し、万博開催に伴う渋滞対策をチームとして検討することを決めた。

港  
洲  
大  
阪  
夢

## HDS優先を継続

実証実験で一定の効果

【関西】大阪港・夢洲にて、阪神国際港湾会社はコンテナターミナル（DICT）で昨年10月から実証実験が行われていたHDS（ホットデリバリーサービス）貨物の優先引き取りサービスについて

優先引き取りサービス

は、既存ゲートの一部をHDS専用確保し、受け付けを置く。優先利用には時間外ゲートオープンと同様に、事前予約と料金が必要となる仕組み。ターミナル混雑緩和に向けて昨年10月29日から今月15日までの期間で実証実験中。

4時半と、午前と午後それぞれ時間を設ける。専用ゲートは同ターミナルC10ゲートに隣接している。阪神国際港湾会社や大阪市は、HDSの利便性向上とターミナルの混雑緩和について効果を測る目的で、DICTでの実証実験を始めた。ゲート待ち時間短縮など一定の効果が見られたことから、サービスの継続が決まった。

ターミナルでは一般貨物とHDSのトレーラーが同一のゲートを通ってヤードに入荷しているが、貨物の時間感覚が違ふためゲート混雑の原因になったり、HDSの効率低下の原因になっている。既存ゲートのうち一つをHDS専用とし、一般貨物と切り分け車両の流れを整える。